

実務で学んだ工業英語

第10回

岡本 和行

今回は第10回の節目ということで、特集記事に挑戦をする予定でしたが、いつものように思いつくままの記事になりました。

「継続は力なり」と言いますが、10年前に比べると、わずかですが英語力の向上を実感しています。貴重な紙面を提供してくださった OSTECS ジャーナルに深く感謝する次第です。

入社後もしばらくは、“or=または”と固く信じて疑わない英語力でしたが、継続によるレベルアップを図ることができました。特に OSTECS では色々なことを学びました。

翻訳と「遊び心」

昨年、ブラジルで開催されたリオ五輪大会で日本は史上最多のメダルを獲得しました。特に印象的だった試合はバドミントン女子ダブルス決勝です。

高橋、松友組は 16-19 の相手ペースから 5 連続ポイントで逆転勝利し、日本バドミントン界初の金メダルを獲得しました。この逆転劇を「ふっとわいた松友の遊び心とベンチワークで相手の連続得点を止めた」と、報じる新聞記事がありました。

「翻訳にも“遊び心”が必要です」と、水上セミナーで先生が話されたのを思い出しましたが、いまだに理解できません。まだまだ勉強不足です。

日本人の英語力

最近、「英語ができる」という人が増え、英語に拒否反応をする人はほとんどいません。本当に日本人の英語力は向上しているのでしょうか。日常会話程度の英会話力は高くなっていますが、書く力は低くなっているのではな

いでしょうか。その要因に次のようなことが考えられます。

1) 機械翻訳ソフトの普及

機械翻訳ソフトの入手が容易になり、機械翻訳の英文を英語と思い込んでいる人が多くなっています。例えば、「叔父の家に泊まりに行く」を機械翻訳すると 1) または 2) のようになりますが、これらは英語の表現習慣に合った英文ではありません。ご存じのとおり、正しくは 3) になります。

1) I go to stay in uncle's house.

2) I go to stay overnight with my uncle.

3) I stay with my uncle.

初級者が翻訳をすると、行く=go、泊まる=stay の逐語訳となり機械翻訳のアウトプットに近い文になります。したがって、機械翻訳のアウトプットが合格点になるのではないのでしょうか。上級者の翻訳は、泊まりに行く > 滞在する > 家に滞在する > stay with の過程になるでしょう。

2) 顧客無視

英文は外国人が読むということが忘れられています。出来上がった英文は日本人が読むものではありません。英文を書く場合は、常に読み手は外国人であると意識することが大切です。日本への外国人観光客も増え、日本文化も国際的になりつつありますが、まだまだ文化が異なります。外国人は日本人ほど順応性がよくありません。

企業も日本語と英語の発想の違いを熟知している人が少なくなり、社内でチェック可能な「ほぼ逐語的な翻訳」が好まれる傾向にあります。

英語力は一朝一夕で身につくものではなく、“継続的”な学習が不可欠です。会社で通用するようになるには最低7年かかる、という知人の説もあります。英語ができなくても身振り手振りや筆談などでコミュニケーションは可能です。しかし、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身につけると仕事の質と効率は格段に上がります。

前号で述べたとおり、分かりやすく、きちっと書いた文書は多くの人に恩恵を与えます。

英語に関する誤解

まだまだ、英語に関する誤解があります。1)と2)の誤解は日本人の英語力の向上を妨げる要因になっています。3)は個人的な恥ずかしい話です。

1) “ネイティブは英語が書ける”

日本人でも日本語を上手に書ける人とそうでない人がいます。英語も同じです。翻訳の場合、第9回の例題にあるようにネイティブには和文の理解が難しいときがあります。日本人でも理解しにくい和文をネイティブが理解するには相当の努力と知識が必要です。日本に長期滞在している外国人は、日本語の力と同時に日本の習慣が身につく、日本語的発想の英文になる傾向があるようです。

2) “欧米で暮らしたら英語ができる”

「あの人はイギリスに3年間住んでいたのだから英語ができる」などの話をいまだに耳にします。外国で暮らしていれば日常会話程度の英会話力は短期間で身につくでしょう。しかし、最近は日本語だけで暮らせる外国の都市が多くなっています。したがって、英会話力でさえ上達しないこともあり得ます。

3) “欧米人はマニュアルを読んでから製品を買う”

新入社員の時代に上司から「欧米人はマニュアルを読んでから製品を買うのだから品質の高いマニュアルを作成しなければいけない」と指導を受けました。欧米の顧客はどのように製品を買う前にマニュアルを入手するのだろうと疑問に思っていました。欧米人とは欧米のエンドユーザーではなく、代理店だと後になって気が付きました。

ヨーロッパへの片道航空運賃が40万円～50万円の時代の話です。当時は重要な考え方でしたが、グローバル化とコミュニケーション技術が発達した現在はそれほど重要なことではなくなっています。コスト削減には今でも重要なことであると個人的には思います。

英語的な表現

英文は「英語の発想」で書く必要があります。そのためには原文の情報を正しく読み取ることが大切ですが、和文に多いのが次のような例です。

(a) 本当に言いたいことの前提となっている事実のみを記載し、あとは察してもらおうという形式

(b) 結束性が弱い、すなわち、センテンス間のギャップが極端に大きい

英語的な表現の英語、すなわち、英語の表現習慣に合った英語を書くためには、前者の場合は相手に何を伝えたいのか、伝えるべきなのかを、自分で明確に認識する必要があります。また、後者の場合はギャップを埋めることが必要です。

例題 1)

(和文) DIP SW S1 は全て OFF にしてください。なお、工場出荷設定は全て OFF です。DIP SW S1 の設定はセルフテスト画面で確認可能です。

(英文) Turn off all DIP SW S1. Meanwhile, all the default settings are off.
The settings of DIP SW S1 can be checked on the self test display.

簡潔明瞭な和文ですが、工場出荷設定がオフのスイッチをオフに設定する理由がなく、論理的ではありません。

私訳) Carry out the selftest to ensure that all DIP switches in S1 are set to the OFF position, or its factory defaults.

例題 2)

(和文) 最大 20 文字で編集ボックスを使って編集し、最後に“SET” ボタンを押せば登録されます。

(英文) Use the editing box, edit the ship's name within 20 characters, and press the SET button.

省略の多い典型的な日本語で、「編集ボックスを使って編集をする」は冗長な表現です。相手に要求する動作は編集ボックスを使うのではなく、データの入力です。したがって、直接的な表現をする英語の発想では Use the edit box to enter...とはならないでしょう。

私訳) Enter a ship's name up to 20 characters long into the ship's name field, followed by the SET button to save.

例題 3)

(和文) A 基板の型式に合わせた送信パルス幅の設定のため、B 基板のジャンパー設定が必要でした。新ソフトにより B 基板のジャンパー設定が不要になります。A 基板交換時は B 基板を交換せず、下表に従ってソフト更新してください

(英文) The jumper settings for the B board were required to set the TX pulse length according to the type of the A board. However, the new software eliminates the need of the jumper settings for the B board. When replacing the A board, upgrade the software in accordance with the following table, but do not replace the B board.

論理的な文章を書くためには、大切なことを先に述べることです。また、理由を上手に述べることも重要です。ジャンパー設定を変更すれば、B 基板の交換は必要ないと思われませんが、和文の内容確認が必要です。

私訳) Use the following table to select new software according to the type of the A board in use. New software does not need to change jumper settings on the B board for selecting the pulselength of the TX signal output to the A board.

例題 4)

(和文) A や B などの静的情報を設定します。必須の設定項目です。A を設定していなければ、受信はできますが、位置通報やメッセージの送信は禁止され、TX Malfunction エラーが出力されます。

(英文) Set mandatory static information, such as information on A and B. Data reception is possible without A settings, in which case, however, the transmission of position reports and messages is prohibited, and an error will be output.

和文の「禁止」は広い意味で日本語として間違いではありませんが、ここでの使用は最適ではありません。“prohibit”を使うのであれば、主語の追加が必要です。英文の読み手は欠落情報を補ってくれません。“prohibit”は英英辞典では次のようになっています。

Merriam-Webster

1: to forbid by authority <Parking is prohibited.>

2: to make impossible <The high walls prohibit escape.>

エラーが出力されるのは外部装置に決まっていますが、英文ではきちっと書く必要があります。

私訳) Enter the static information such as A and B. With A not being entered, the system receives the data, but transmits neither position reports nor messages while outputting the "TX Malfunction" error message to external devices. Make sure to enter these data.

例題 5)

(和文) 高温多湿な装備環境下において、モーターブレーキのテスト回路がショートし、A 装置の電源投入と同時にモーターブレーキが解除される。

(英文) The test circuit of the motor brake causes short circuit under the hot and humid installation environment, so the motor brake is released upon power is applied to the A unit.

和文の前半と後半のギャップを埋めて、論理的な文にします。自明なことでも英文では説明が必要です。読み手に伝えたいのは、モーターのブレーキが効かず、電源を入れると B が下降することです。

私訳) In hot and humid environments, a short circuit occurs in the motor brake test circuit, thereby disabling the motor brake function. If so, the B lowers when the A unit is turned on even if the Hoist/Lower switch is set to the Hoist position.

《ひとやすみ》

日本マクドナルド社が公募したハンバーガーの名前「北のいいとこ牛っとバーガー」の説明文です。英訳に挑戦してください。

(朝日新聞 2016 年 3 月 5 日夕刊の「時事英語に挑戦」の引用)

和文: 「ぎゅっと」は物を詰め込む様子を表す擬態語で、牛肉の「キュウ」と掛けてある。

例題 6)

(和文) XYZ の設置方向は指定されていますか。

(英文) Is the installation direction of the XYZ defined?

専門的な表現の和文が理解されず、英文が死訳になっています。和文を書きなおすと、“XYZ は決められた方向に設置しますか、または、XYZ に方向はありますか”となります。原文の内容を十分に理解しないで英文にすると、死訳になる傾向があります。

私訳) (a) Does the XYZ need to be aligned?

(b) Does the XYZ have an alignment mark?

(c) Does the XYZ point at a certain direction?

例題 7)

海外からの問い合わせに回答をする場合、日本語の感覚で英文を作成すると、回答にならないことが少なくありません。

Q: We request from your side to clarify whether the XY signal will be transferred to A when B is in stby mode.

A: Stand-by mode is just a mode which does not generate the alarm sound. If B is powered-off, the XY signal will not go out B.

この回答はたくさんの情報を相手に伝えようと書かれていると推測しますが、回答になっていません。なぜなら、STBY (スタンバイ) のときに XY 信号を A に出力するかどうかの明記がなく、読み手は欲しい情報を推論することになります。

If B is の文から読み手が得る情報は全くありません。電源を切れば何も出力されないのは世界中で自明のことで、質問者もすでに理解しています。

回答を日本語の発想で解釈すると、“STBY モードは音声アラームが鳴らないだけである。B をオフにすると、XY 信号は出力されない。よって、STBY モードでは B から A に XY 信号は出力される”となります。質問者の最大の関心ごとである最後の文が英文にありません。

回答例) (a) B transfers the XY signal to A in STBY mode which disables only the audible alarm.

(b) B outputs the signal to A regardless of the selected mode.

例題 8)

(和文) 船体の動揺により X 装置は前後に揺れます。突発的な衝撃を受けた時や船が大きく傾いた時に、防振装置のストッパーを乗り越え防振装置が破損に至る場合があります。筐体上部のアイボルトを使って、必ず 4 点吊りで筐体を天上に固定してください。

(英文) The X unit sways with the ship's roll or pitch. When the ship moves suddenly from wave impact or other causes, the X unit may sway farther than the stoppers. This can cause damage to the anti-vibration device. To prevent damage to the anti-vibration device and the X unit, secure the X unit with ropes to the ceiling.

筆者注記：ワイヤー式防振装置（図省略）の上に X 装置が載っています。防振装置の上下の板にあるストッパーで、X 装置はある角度以上は傾きません。しかし、力のかかる方向によって、上板のストッパーが水平に動き、下板のストッパーに当たりません。その場合、防振装置は設計値以上の角度で揺れ、上板と下板の間にあるワイヤーが疲労、変形して防振機能を失います。

論理的な文章は「肝心なことを先」に述べます。一般的には読み手に要求する行動が最初の文となります。したがって、情報量の少ない“X 装置は前後に揺れます”を英文の最初の文にするのは不適切です。

また、日本語の発想では「A なので B」のように理由を先に述べる場合が多いのですが、英語の発想では習慣的に理由は後で述べます。

さらに論理的な英文を書くために大切なことは、自明だからと省略しないことです。防振装置は X 装置を振動から保護するために使用されており、防振装置が壊れると最終的には X 装置も故障します。これを **damage to the anti-vibration unit and the X unit** とするのは無理があります。文を分けて具体的な説明が必要です。

私訳) Secure the X unit to the ceiling with four ropes to prevent the anti-vibration device from being damaged in extreme conditions of vibration and/or shock. The upper stopper on the anti-vibration device normally hits the lower one so that the tilt angle does not exceed the designed limit. However, under specific conditions, the X unit may move back and forth before having a tilt. If so, the stoppers are misaligned and the maximum tilt angle increases, causing overload damage to the anti-vibration device eventually. The damaged anti-vibration device will lead to failure of the X unit. Use the four eye-bolts on the top of the X unit for binding ropes.

以上、いくつかの例を説明しましたが、読み手は日本語的な発想で書かれた英文には **What...?**とか **Why...?**と疑問を抱きます。内容を理解するように努力はしてくれますが、正しく理解される保証はありません。

Click/Press/Select

メニュー操作で使用するこれらの動詞は選択に困るときがあります。私は次のように使っています。カッコ内は使用を避ける動詞です。

- a) Click a button on the screen. (press)
- b) Press a key on the keyboard. (hit/push)
- c) Choose an option button. (select/tick/click)
- d) Select or clear a check box. (choose/tick/click)
- e) Enter data into an input field. (input/type)
- f) Select a tabbed page. (click/choose)



「ひとやすみ」の英文例

"Gyutto" is onomatopoeia for squeezing something in and also a play on the word "gyu" meaning beef.

(旧会員)